

### 平成24年度 学校評価実施報告書

学校番号 33 学校名 千葉県立船橋法典高等学校 課程名 全日制の課程

領域	自己評価の結果 (達成状況・結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学 校 経 営	<p>①校内に広報係を設定し、掲載用写真及び記事の作成を行事等ごとに割り振ったことによりホームページの更新がスムーズに行えるようになり、<u>週1回の更新はほぼ達成できている</u>。また、<u>学校説明会に出席した中学生及び保護者の7割が本校ホームページを閲覧しており、見やすく分かりやすいとの感想が多かった</u>。</p> <p>②災害時等の情報発信方法を改善した。</p> <p>③学校説明会への参加者、第1回(夏)524名(昨年482)、第2回(秋)284(昨年325)で、第1回の学校説明会への参加者の比重が高まっている。学校説明会は、アンケート結果から学校、生徒の様子がよく分かると好評であった。 学校案内を刷新、きれいで内容も見やすいと評判も良い。</p>	<p>①ホームページについて、更新にかかわる組織は確立できたことから、今後は内容を充実させていきたい。あわせて、個人情報保護については、生徒及び保護者の承諾の取り方を検討していく。</p> <p>②試行の状況は良好である。</p> <p>③今年度第2回説明会と船橋市内の中学校の行事と重なったため市内からの参加者が減少した。更に早い広報が求められる。学校説明会は内容や生徒の活動場面を増やす等、更に充実させていきたい。</p>
	<p>④管理職の観察によると、授業、朝自習ともに落ち着いた環境の中で実施できている。しかし、授業の生徒理解度は66.7%であり、目標の85%には届いていない。 授業の環境整備はできているものの、必ずしも結果に表れていないことが判明した。 (学習の項目に関連アンケート結果有り)</p> <p>⑤一人一人を大切にされた指導等、学年室を中心とした学校の指導が認められており、学年室体制は十分機能している。 学校評価アンケート結果によると保護者は、「一人一人を大切にされた指導がなされている」85.8% 「適切な生徒指導が行われている」90.1% 「生徒の相談に親身になって応じる」83.5% 出席率は96.5%と目標には達しなかった。</p> <p>⑥各学年、生徒指導部の年間評価によると、生徒指導は、概ね成果が現れている。 学校評価アンケート結果によると生徒は、「ルールを守って学校生活を行っている」81.9%</p>	<p>④静かに、前を向いて授業、朝自習に取り組む姿勢は確立できている。今後は、生徒の理解度を高める指導内容や方法の工夫の仕方について全職員に対する研修が必要である。</p> <p>⑤各学年室を核に学校全体として、生徒理解が深く、個に応じた指導・支援が行われている。今後増加していく、心に傷を持つ生徒、軽度発達障害のある生徒への接し方や不登校生徒への対応等について、教育相談委員会を中心に対応を強化していかなければならない。 保護者とともに外部関係機関との連携を深めていく必要がある。</p> <p>⑥特定の生徒が遅刻等、改善が見られずに繰り返していることから、更に個別指導、家庭との連絡を強化していく。</p>
	<p>⑦通学安全委員会 (下校指導) 6月22日(金) 9名 11月30日(金) 8名 (環境美化活動) 10月12日(金) 8名 広報委員会 6月21日(金) 7名 7月9日(月) 5名 企画委員会 7月9日(月) 5名 9月14日(金) 8名 通学安全委員会、広報委員会の活動は地道ながら定着してきた。企画委員会では、文化祭催事や研修会の企画、実施ができた。</p> <p>⑧総会参加者30名、各理事会の参加者平均23名。保護者の意識が高くなり内容も充実してきた。</p>	<p>⑦通学安全委員会、広報委員会は、現行の活動を十分に検討し、より活性化に努める。企画委員会は、多くのPTA会員が参加できる研修等を企画していきたい。</p> <p>⑧総会に理事以外のPTA会員の出席を強く呼びかけていくことにより、本校の教育活動に対し参加意識の向上を図る。</p>

	<p>⑨執行状況は良好である。</p>	<p>⑨事務長を中心に、予算執行状況は精査され、健全に執行されている。</p>
<p>学 習 活 動</p>	<p>①③学校評価アンケート結果によると 「授業内容が理解できる」 生徒66.7% 保護者77.1% 職員65.2% 「分かりやすくするための工夫している」 生徒66.7% 保護者81.5% 職員93.5% 上記の通り、職員の授業の工夫と生徒の理解の状況がマッチしていない現状が明らかになった。</p> <p>②「職員間授業公開週間」を5月、9月に実施した。 「開かれた学校づくり委員会」6月16日(土) 9名 「授業練磨の公開日」11月17日(土) 約30名 「保護者授業参観週間」11月16日(金)から22日(木) 17名 保護者及び外部への授業公開を実施した。</p> <hr/> <p>④学年毎の年間計画に従って行われた朝自習によって、生徒の自立や達成感の成就が行われた。 1学年 一般常識養成講座、漢字検定 2学年 到達度テスト(ベネッセ)の実施 10級から7級制覇 国語 87.6% 数学 54.3% 漢字検定 3学年 語彙・読解力検定 全学年希望者 英語検定、数学検定</p> <p>⑤学習意欲を持つ生徒に対して、個別に指導を繰り返した結果、英語に興味を持つ集団ができあがり、英語同好会が設立した。英語同好会から、語学を学ぶために大学の英語英米文化学科に進学する生徒が出た。1月31日現在、進路決定率は87%</p> <hr/> <p>⑥道徳教育推進委員会は、委員長を中心に活動し、25年度の活動予定表を作成し、現在内容を検討している。</p>	<p>①③職員の入れ替わりにともない、職員の工夫と生徒の理解の状況がマッチしていない現状が明らかとなったことから、今年度、若手モラルアップ委員会主催で行った「ユニバーサルデザインを利用した授業研究」を拡大し、来年度、職員の全体研修として実施したい。</p> <p>②職員間の授業公開週間は、多忙な時期を回避するよう時期の検討が必要である。今年度から新規に保護者授業参観週間を設定した。より多くの保護者に授業を見てもらうために、来年度は1学期にも設定していきたい。</p> <hr/> <p>④学年毎に目標を持って行う朝自習は、生徒の興味、関心も高いため、次年度以降も継続していく。</p> <hr/> <p>⑤英語検定試験の補習をする内に英語に興味を持った生徒が集まり同好会を設立、顧問を中心に活動しており、同好会員の進路決定の手助けとなっている。今後もこのような活動は奨励していきたい。</p> <hr/> <p>⑥年度末に完成する読み物教材等を利用し、本校生徒の自己啓発の向上を意識した授業展開となるよう計画を進める。</p>
<p>生 徒 指 導</p>	<p>①週1回の教育相談委員会では、特に軽度発達障害のある生徒への対応のしかたについて検討された。 課題や悩みを抱える生徒に対しては、放課後に個人面談をするなど丁寧な対応をしている。経済的、精神的に不安定な家庭もあり、保護者からの相談も多い。</p> <p>②問題行動カードの発行数(4月~12月) 1年: 137 2年: 135 3年133 特別指導: 16件30名(昨年16件26名) 問題行動カードの発行数は多いが、細かな指導をしているためと考える。</p> <p>③1日の平均遅刻者人数(4月~12月) 4月 1年1.40 2年7.80 3年4.40 5月 3.30 9.40 5.70 6月 5.65 8.40 7.90</p>	<p>①担任、学年の個別対応に対して、教育相談委員会が組織として支援することが理想だが、現状では、その体制は整っていない。まず体制の整備を急ぎたい。</p> <p>②小さなことを見逃さない指導のため、問題行動カードの発行数はある程度仕方がないこと、その指導によって大きな問題の発生を防いでいると考えられるので、継続してカード発行による指導を継続していく。</p> <p>③1学期の皆勤者率 39.8% 2学期の皆勤者率 30.0%を考えると、課題は遅刻を繰り返す常習者の指導である。担任、学年及び生徒指導部を中心に指導</p>

	<table border="0"> <tr> <td>7月</td> <td>4.67</td> <td>5.62</td> <td>5.92</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>8.95</td> <td>8.10</td> <td>10.65</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>9.38</td> <td>7.81</td> <td>9.67</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>9.90</td> <td>6.48</td> <td>10.90</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>8.47</td> <td>6.73</td> <td>6.40</td> </tr> </table> <p>4月～12月 全校3.81%  目標の3%は、達成されていない。</p> <p>④改善指導カードの発行数(4月～12月2日)  1年：89 2年：70 3年：72  一斉指導や学年毎の根気強い丁寧な指導で多くの生徒は1回の指導で改善するが、データからは、同じ生徒が複数回指導を受けていることが分かる。</p> <p>⑤地域からの意見  i 通学時の自転車の乗り方に関して 6件  ii 校外での喫煙に関して 3件  iii 酔っ払いに絡まれた母子を助けた 1件  i, iiに関しては、原則生徒指導部長等が現場に出向いて対応した。  通学中の教件の自転車事故が発生した。</p>	7月	4.67	5.62	5.92	9月	8.95	8.10	10.65	10月	9.38	7.81	9.67	11月	9.90	6.48	10.90	12月	8.47	6.73	6.40	<p>方法を再考する必要がある。  学校経営⑥参照</p> <p>④ネクタイ・リボンのつけ忘れから頭髪指導等、徹底した生活指導をすることで、生徒の自己啓発を育成している。引き続き、きめ細かな指導を実施していく。</p> <p>⑤自転車のマナーについての意見は、登下校時間帯に集中するため、根気よく指導を継続していく。特に新入生が慣れない自転車を運転する4月に重点的に指導していきたい。</p>
7月	4.67	5.62	5.92																			
9月	8.95	8.10	10.65																			
10月	9.38	7.81	9.67																			
11月	9.90	6.48	10.90																			
12月	8.47	6.73	6.40																			
<p>キャリア教育</p>	<p>①生徒の発達段階に応じたキャリア教育を計画的に実施した。  1年：<u>進路全般説明会（1回）</u>  <u>分野別進路ガイダンス（1回：外部）</u>  <u>上級学校見学会（1回：外部）</u>  2年：<u>進路全般説明会（1回）</u>  <u>卒業生講話（1回）</u>  <u>分野別進路ガイダンス（1回：外部）</u>  <u>インターンシップの実施（12名）</u>  <u>上級学校見学会（1回）</u>  3年：<u>進路全般説明会（1回）</u>  <u>大学・短大説明会（3回）</u>  <u>専門学校説明会（3回）</u>  <u>就職説明会（5回）</u>  <u>進学推薦面接指導（21名 複数回）</u>  <u>就職面接指導（51名 複数回）</u>  <u>分野別進路ガイダンス（1回：外部）</u>  <u>集団面接指導（1回：外部）</u></p> <p>②生徒及び保護者に対して積極的に進路情報の提供ができた。  「進路の手引き」「進路ニュース」の発行  保護者向け進路講演会6月1日(金)</p> <p>③定期的な面談週間を設け、生徒及び保護者との面談の時間を確保している。  生徒個人面談週間（4月、9月）  保護者面談週間（6月、11月）</p> <hr/> <p>④高校生就職支援事業を受け、6月に企業訪問を実施した。  21社（県内15、県外6）</p> <p>⑤LHRの時間や総合的な学習の時間を利用して、適性検査、進路説明会、求人票の見方、履歴書の書き方、敬語の使い方、面接の受け方等実用的な進路学習を展開した。  進路決定状況：大学・短大33名  専門学校 57名  就職 57名  未定 26名  進路決定率：87%</p>	<p>①進路指導部及び学年の指導の結果、進路決定率が大幅に向上した。  このことを励みに、来年度以降の指導につなげていきたい。</p> <p>②更に保護者との進路情報の共有化を高める方策を検討していく。</p> <p>③特に女子生徒の意識を向上させ、未定者を減らす方策を検討していく。</p> <hr/> <p>④就職活動の長期化にともない、担当職員の負担が増加している。校内の役割を検討していく。また、外部との連携も検討していきたい。</p> <p>⑤進路指導部及び学年の指導の結果、進路決定率が大幅に向上している  未定者の中には、社会情勢の変化や経済不況の影響が家庭に及び、生徒の進路実現を困難にさせている場合もある。</p>																				

	<p>⑥ 1, 2年の漢字検定の結果は2月。漢字検定の他、数学検定、英語検定、語彙・読解力検定等多くの検定試験に挑戦した。</p>	<p>⑥ 将来のキャリア形成に向け、漢字検定、英語検定等は継続して挑戦させていきたい。</p>
特別活動	<p>① 生徒の行事参加状況は良好である。富士山研修、田植え体験は新しいクラスの仲間とのコミュニケーションづくり、他を思いやる気持ちを身につけるために大いに役立った。沖縄への修学旅行も、民泊、社会見学をとおして貴重な体験をすることができている。2年の家庭科の授業における保育園での体験活動等を含め、コミュニケーション能力の向上に大変有効であった。</p>	<p>① 富士山の宿泊研修については、メインとなる山中湖畔の浄化にともない、学年で拾う程のゴミがなくなっている現状や日程を踏まえ、検討する必要がある。自己啓発活動を推進していくために重要である体験活動について、今後も内容の検討等をしながら継続していく。</p>
	<p>② 全校及び学年毎に、通学路を中心に近隣の清掃活動をしており、地域の評判も良い。全校：7月 1年11月 2年1月 3年5月</p>	<p>② 清掃にこだわらずに地域に貢献できるものを考えていきたい。</p>
	<p>③ 4月末時点での部活動の加入率は、52.3% (昨年：55.9%)であり、目標の50%に達している。多くの生徒が放課後、休業日にそれぞれの部活動の活動場所できいき活動している姿が清々しい。顧問の献身的な指導に感謝している。</p>	<p>③ 活発になった部活動を統轄する組織として顧問間の連絡調整を図るため、部活動指導委員会の組織を整備していきたい。</p>
特教 色育 あ活 る動	<p>① 特別支援教育校内支援委員会は、時間割の中に組み込み、毎週定例の会議を行っており、軽度発達障害のある生徒等の支援について協議し、実際の支援を学年とともにやっている。</p> <p>② 船橋特別支援学校との交流会は3月に予定されている。</p>	<p>① 特別支援が必要な生徒について、2次的な障害を防ぐために、早期発見、状況把握、対応を組織的に展開していきたい。</p>

学校評価の公表について (手段・時期等)	・3月中にホームページにアップして、学校評価を公表する。
-------------------------	------------------------------

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	①ホームページの内容は分かりやすく、生徒の活動状況がよく分かるものになっている。 週1回程度の更新も大変だと思うが、学校の様子分かるので多くの先生方の協力をいただき、更に多くの情報を発信してほしい。	①ホームページについて内容や更新の頻度に関しては、目標に達していると考えている。この1年間の情報を整理し、来年度の情報の内容を精査していく。 個人情報の保護について体制を整える。
	②災害時等の情報発信方法は、保護者に確実に浸透させてほしい。また、大地震発生時等生徒の保護者への引き渡し方法等のマニュアルを明確にすべき。	②保護者等に災害時の情報受信方法を徹底していく。また、大地震等に対応するマニュアルを再検討し生徒及び保護者に周知していく。 ※船橋市と一部の学校施設を災害等の「宿泊可能な避難所」に指定する協定を締結。
	③学校説明会への参加者の増加は、中学生及びその保護者が本校に興味を持っている証拠であり、評価できる。内容を精選して在校生の活動状況を参加者に知らせてほしい。 学校説明会に「体験学習」を組み入れることを検討してほしい。	③受検生の関心の高さは、前期選抜の高倍率によって証明されている(2.14倍)。学校説明会において、在校生の活動状況を伝える方法を再検討していく。 同時に「体験授業」等の実施も検討していく。
	④朝自習を拝見して、生徒同士が教え合う姿など感心している。学年毎の年間計画も、年々整備されているように感じる。	④授業の生徒理解度の数値を66.7%から85%まで引き上げるため、今一度初心に戻り「ユニバーサルデザインによる授業展開」に関する教員のための研修会を実施する。
	⑤「一人一人を大切にしている指導がなされている」(保護者85.8%)「適切な生徒指導が行われている」(同90.1%)「生徒の相談に親身になって応じる」(同83.5%)が示すとおり。学年室を中心とした指導体制は機能していると評価できる。 多様な生徒が在籍する現状で出席率96.5%も、頑張っていると評価できる。今後も保護者と学校の対話を十分にして、一人一人の生徒を大切にしてほしい。	⑤各学年室を核に学校全体として、生徒理解が深く、個に応じた指導・支援が行われている。現代の生徒の抱える問題は、年々複雑かつ根深いものとなっている。教育相談委員会を中心に対応を強化していかなければならない。多様な生徒への対応については、保護者と共に外部機関との連携をさらに深めていく。 各学年の連携を強化するために、月一度の学年主任会議を新たに企画する。
	⑥「ルールを守って学校生活を行っている」81.9%という数字は、通学する生徒の姿を見てもよく分かる。	⑥特定の生徒の遅刻等への対応について、家庭との連携の強化を図っていく。
	⑦各委員会の活動は、定着してきた。	⑦各委員会の活動の活性化に努めていく。
	⑧PTA行事の参加について会長等も工夫をしているようだが、参加率の向上にはつながらないようだ。その中で今年度PTA企画の校外研修会への参加者が大幅に増加したことは今後のPAT行事への参加率アップの方向性を示していると考えられる。	⑧保護者の学校に対する関心は高まっていると考えられる。さらにPTA活動に参加することへの具体的な意義を周知していきたい。
	⑨今後も、適正で効率的な財産管理と公金の扱いに努めてほしい。	⑨事務長を中心に適切な予算執行に務めていく。

<p>学習活動</p>	<p>①③少人数制の授業は支持しているが、さらに踏み込んだ習熟度別の授業展開はできないものか。</p> <p>②先生方には互いの授業を参観することで授業力アップに努めてほしい。今年度「保護者授業参観週間」が新設されたが、PTAの目を学校に向けるためにも年間2回実施してほしい。</p> <p>④⑤各種検定試験への挑戦は、一人一人が目標を持って取り組めることがよい。さらなる学習意欲を持つ生徒の発見もあるということなので、個別補習も含めて個々の力を伸ばしてほしい。検定試験を全員受検へ幅を広げることにはできないかを検討してほしい。</p> <p>⑥道徳教育を高校で実施することについて疑問を感じるが、来年度以降の実施に期待する。</p>	<p>①③本校の特徴である「ユニバーサルデザインを利用した授業」について全体研修を行い、個々の教員が、「わかる授業」を展開できるよう努めていく。</p> <p>②職員間の授業公開週間は、時期の再考が必要である。「保護者授業参観週間」は、年間2回、5月と11月に開催を考えている。</p> <p>④⑤朝自習については、そろそろ学年毎にプログラムが確立される時期と考えられる。各学年の連携を密にして、学校としての朝自習の在り方を確立していきたい。生徒に必要な検定を精選していく。</p> <p>⑥道徳教育の年間計画に従って、初めての道徳の授業を成功させる。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>①教育相談等が活発に行われていることが分かり高く評価している。スクールカウンセラーへの相談件数が減少したことは、生徒の精神の向上と考えることもできる。</p> <p>②③④生徒及び保護者に対して、先生方はもっと真摯に対応することを望む。問題行動カードの利用は良いアイデアだと考える。学校のシステムとしては有効に活用されていると思うが、家庭への通知は小忠実に行われているのであろうか、学校、家庭の連携をとおして生徒を指導していくことが大切である。特に欠席や遅刻は、家庭の責任が大きいと考えられる。</p> <p>⑤交通安全教育の重要性は十分理解されると思われるので、その充実と徹底を望む。通学時のマナー違反は、地域も協力し学校への連絡を密にしていきたい。</p>	<p>①今年度の実践を継続、発展させながら、さらに生徒理解の知識と実践方法を研修していく。</p> <p>②③④小さなことを見逃さずに、細かく指導していく本校の指導方法によって、大きな問題の発生を防いでいるという強い意識を持って、現行の指導体制を継続していく。家庭への通知等、小忠実な対応を徹底して行っていく。</p> <p>⑤自転車のマナーは、交通事故に直結する事項と考え、指導を徹底していく。特に新入生が通学を始める4月の指導を重点的に行っていく。</p>
<p>キャリア教育</p>	<p>①進路説明会やガイダンス、インターンシップ上級学校見学会など学年毎(生徒の発達段階)に機能的に計画され、実施できている。</p> <p>②保護者向け進路講演会への参加が少ないのは残念だが、その分を「進路ニュース」等とおして、家庭で親子が話し合う機会をつくれるよう、資料提供をお願いしたい。</p> <p>③進路指導は、生徒、保護者及び先生の三者面談が基本と考える。そこから、厳しい進路決定に向け最善の方法を模索していけることを期待する。</p> <p>④高卒の就職は、なお厳しいと聞く。生徒の選択の幅を広げるために、新規の企業開拓を推進してほしい。</p> <p>⑤LHR、総合的な学習の時間を利用し、具体的な進路実現対策の取組を実施していることが分かった。その結果、進路決定率87%(1</p>	<p>①進路指導部と学年職員の手厚い指導の下、進路決定率が大幅に向上した。今年度の実施事項を十分精査し、来年度以降の進路指導に役立てていきたい。</p> <p>②保護者の関心を、単に「高校卒業」から「希望進路実現」に深化させるために、学校側から資料提供を継続していくとともに、保護者の足を学校に向けるための企画を検討していく。</p> <p>③生徒、保護者及び教員の三者面談をとおして、生徒の将来への意識を具体化させていきたい。</p> <p>④就職活動の長期化にともない、担当職員の負担が増加しているが、校内の役割を整理し、新規企業の開拓に努めていく。</p> <p>⑤実践的な進路実現対策を精査し、今年度の進路決定率を上回れるよう、計画を立てていく。</p>

	月末)は、高く評価できる。	
	⑥今後も検定試験等に積極的にチャレンジするよう指導してほしい。	⑥英語の検定に対する、挑戦率を上げていきたい。
特別活動等	①体験活動は、生徒にとって貴重な体験となっている。今後も大いに推進してもらいたい。	①2学年の富士山研修については達成感等、再考し、代替行事を企画していく。1学年の田植え体験は、継続していく。
	②学校が通学路の清掃を行っていることを地域の住民は喜んでいる。自分たちできれいにした場所にゴミを捨てたくない気持ちも相まって通学路はいつもきれいだ。今後も、この活動を続けてほしい。	②清掃にこだわらずに、地域に貢献できることを企画していきたい。
	③部活動が活発になり、地域は喜ばしい。特に陸上部のインターハイ出場は、地域に元気を与えている。	③活発になった全部活動を統轄する組織として、顧問間の連絡調整を図るための部活動委員会の組織の整備が必要である。
特色ある教育活動	①特別支援学校の経験を持つ先生方がいることは、学校にとって大きな財産と考えられる。リーダーシップを持って特別支援のノウハウを学校に還元してほしい。	①中学校や特別支援学校の経験を持つ職員の特徴や力量が発揮できる環境及び組織を整備していく。
	②船橋特別支援学校との交流は、高く評価する。近隣にある「千葉県福祉援護会」があるので高齢者との交流も検討してほしい。	②近隣施設を利用した、高齢者との交流を検討していきたい。